

2024年回顧〈国内篇〉 おすすめリスト

森下一仁さん：BEST 5

	①飛浩隆『鹽津城』河出書房新社
	②藤井太洋『マン・カインド』早川書房
	③宮内裕介『暗号の子』文藝春秋
	④高野史緒『ビブリオフォリア・ラブソディ あるいは本と本の間の旅』講談社
	⑤円城塔『コード・ブッダ 機械仏教史縁起』文藝春秋

森下一仁さん：妙に心に残る作品

	柞刈湯葉『幽霊を信じない理系学生、霊媒師のバイトをする』新潮文庫nex
	安野貴博『松岡まどか、起業します AIスタートアップ戦記』早川書房
	高山羽根子『パンダ・パシフィカ』朝日新聞出版
	小川哲『スメラミシング』河出書房新社

岡野晋弥さん：BEST 5

	野崎まど『小説』
	春暮康一『一億年のテレスコープ』
	王城夕紀『ノマディアが残された』
	夏海公司『セピア×セパレート 復活停止』
	零余子『夏目漱石ファンタジア』

香月祥宏さん：BEST 5

	宮西建礼『銀河風帆走』（創元日本SF叢書）
	坂崎かおる『嘘つき姫』（河出書房新社）& 『箱庭クロニクル』（講談社）
	奥泉光『虚史のリズム』（集英社）
	不破有紀『はじめてのゾンビ生活』（電撃文庫）
	八潮久道『生命活動として極めて正常』（KADOKAWA）